KIORITZ

取 扱 説 明 書

共立自走式肥料散布機

SRP-7

⚠ 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業をしてください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重症事故を起こす恐れがあります。

はじめに

お使いになる前に、取扱説明書を必ずお読みください。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は、機械の取り扱い方法と、使用上の注意事項について記載しています。
本製品をご使用いただく前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容を理解して正しくお使いください。また、この取扱説明書は、お読みになった後もいつでも読めるように必ず保管をしてください。

お願い

・この取扱説明書の内容が理解できるまで、本製品をご使用にならないでください。
・本製品を貸与する場合は、借りて作業する人に、この取扱説明書とともに機械を貸与してください。また、譲渡するときもこの取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
・この取扱説明書が損傷により読めなくなったり、紛失した場合は速やかに販売店にご注文ください。

おことわり

・本製品は改良のため、予告なしに使用部品などを変更することがあります。その際には、本書の内容及び写真･イラストなどの一部が、製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

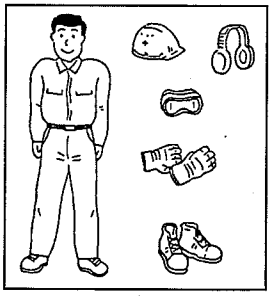
用途

・本製品は、化成肥料散布機としてご使用ください。使用目的以外の作業はしないでください。
・整備不良や使用目的以外に改造した機械は大変危険ですので使用しないでください。

安全な作業をするために

◆安全な作業をしていただくために、ご使用前に必ずここに記載されている注意事項をお読みください。
◆ここに記載されている注意事項は、安全に関する重大な内容です。必ず守ってください。
◆購入された製品によっては、該当しない内容も一部掲載していますのでご了承ください。

(1)作業者の条件について



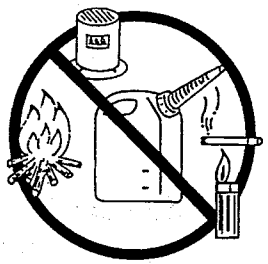






・機械知識のない人や、他人の機械を借りて作業する人には、事前に取り扱い方法や安全な使い方をよく説明し、必ず取扱説明書を理解させてください。
・疲れているときは、本製品を使用しないでください。もし、本製品を使用中に疲れた場合は、作業を中断し休息してください。
・服装は長袖・長ズボンを着用してください。裾のひらいた上着や半ズボン・鉢巻・首巻き・腰タオルは機械に巻き込まれる恐れがありますので、絶対に着用しないでください。
・作業靴は底に滑り止めが付いた丈夫なものを着用してください。サンダル履きでの作業は絶対にしないでください。
・手袋は、厚い丈夫なものを着用してください。
・作業帽はヘルメットまたはつばのある帽子を着用してください。
・次に該当する人は、操作をしないでください。
　取扱説明書の内容が理解できない人。
　酒気をおびた人。
　過労・病気・薬物の影響・その他の理由により作業に集中できない人。
　妊娠中の人。
　睡眠不足の人。
　本機の操作に自信がない人。
　運転が未熟な人。

(2)火気厳禁



・燃料のそばにいるときは火気厳禁です。タバコを吸ったり、裸火を近づけないでください。
・エンジン回転中やエンジンが熱い間は引火の恐れがありますので燃料キャップを外したり燃料補給、給油はしないでください。
・燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止し、火気のない所で行ってください。また、燃料タンクキャップを確実にしめ、こぼれた燃料はきれいにふき取ってください。
・燃えているごみの上やその近くは走行を禁止します。もれた燃料やオイルに引火し、火災をおこす恐れがあります。

(3)作業前の注意

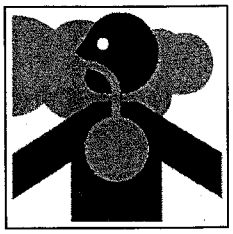
・点検･整備は交通の妨げとならないところで、機械が倒れたり動いたりしない、平坦で安定した場所で行ってください。
・配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを作業前に点検してください。
・前日の不具合点も含めたいかなる故障についても修理が完了していることを確認してから作業をしてください。
・燃料パイプが劣化していたり破損していると、燃料もれを起しますので、必ず点検をしてください。
・各部のねじ等がゆるんでないか、確認をしてください。
・作業部の動きが適切か、確認をしてください。
・著しい異音の発生するものや部品交換の必要な機械は、使用しないでください。
・トラックへの機械の積み・下ろしをするときは、必ずトラックのエンジンを停止し、駐車ブレーキを掛け、車止めをしてください。
・トラックに載せて運搬するときは、転倒・落下を防ぐために取っ手とハンドルに強度の十分あるロープを使用して、トラックへ確実に固定してください。

(4)始動時の注意

・周囲に人のいないことを確かめてください。特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。
・エンジン始動時は、レバーの位置と周囲の安全を確認してください。
・リコイルスターターを引くときは、機械が倒れないようにしっかりと支えてください。

(5)作業時の注意

・ハンドルをしっかり握り、進む方向の様子を十分注意してください。
・わき見運転・手放し運転はしないでください。
・本機のまわり10m の範囲内へ他の人や動物が近づかないようにしてください。
・雨天や雨上がりの作業は、足もとが滑りやすいので注意してください。
・エンジンの排気ガスは有害です。閉めきった室内等での作業は原則禁止です。やむをえず作業をする場合は、換気に十分注意してください。



・機械についた泥や巻き付いた草を取り除くときは、必ずエンジンを停止してから取り除いてください。
・機械の下にもぐったり、足を入れないでください。
・後退での作業はしないでください。
・作業を中断したり移動したりするときは、エンジンを停止してください。
・不安定な場所での作業は、大変危険ですので絶対にしないでください。
・本機に対して無理な持ち方や自分にとって危険な持ち方は絶対にしないでください。
・隣畝への移動時は、エンジン部が熱くなっています。触れないように注意してください。

(6)点検・修理の注意

・機械の清掃・点検をするときは、エンジンを停止してください。
・機械に異常がある場合は直ちに購入店へ修理を依頼してください。
・機械の勝手な改造などはしないでください。

(7)安全のための警告マーク

本書に記載した⚠警告マークの付いた注意事項や機械に貼られたシールは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について次のように表示しています。

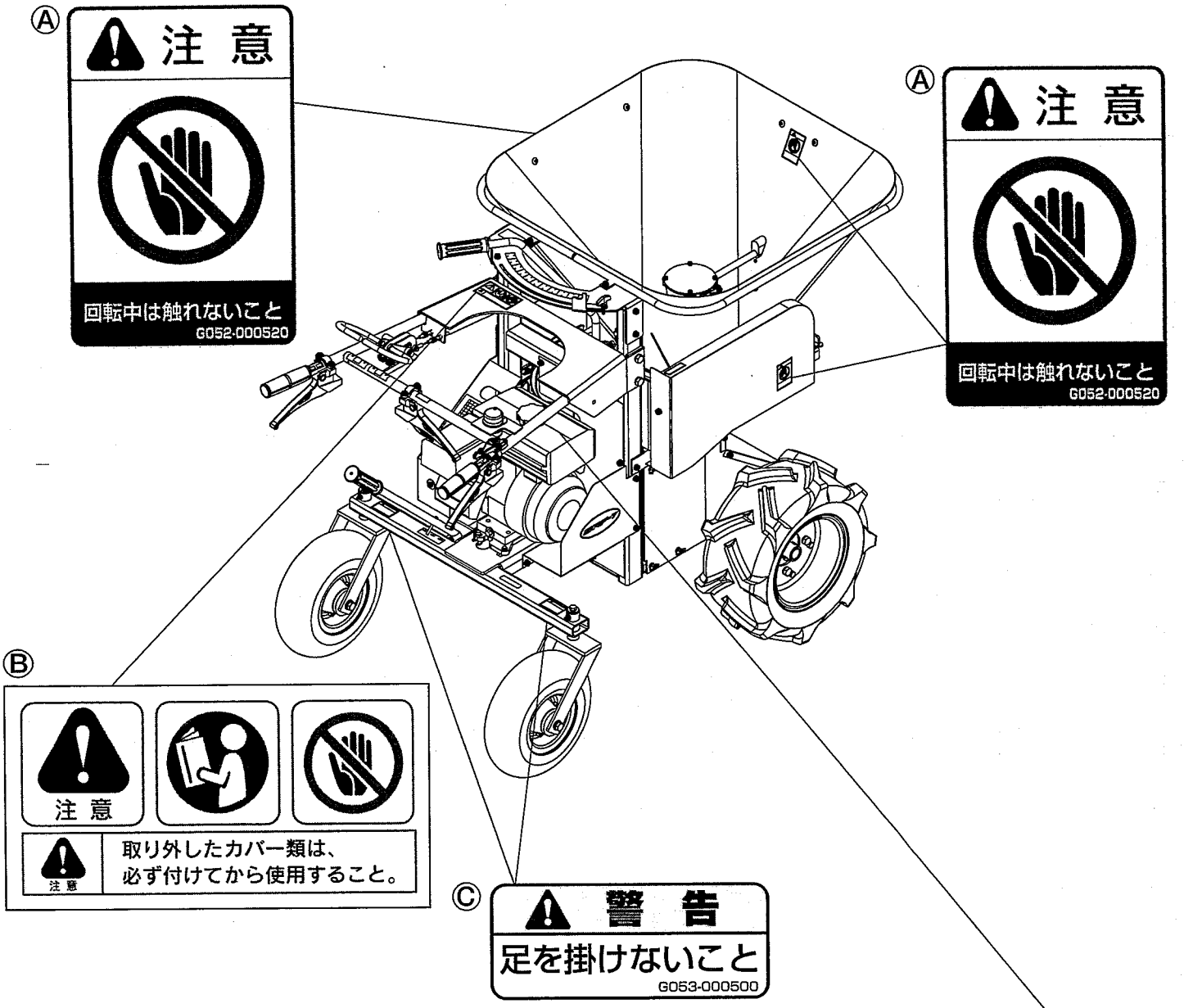
⚠ 危険	その警告に従わなかった場合、死亡または重症を負うことになるものです。
⚠ 警告	その警告に従わなかった場合、死亡または重症を負う危険性があるものです。
⚠ 注意	その警告に従わなかった場合、けがを負うおそれがあるものです。
重要	その警告に従わなかった場合、機械の破損や事故のおそれがあるものです。


…取扱説明書をよくお読みください。


…手を触れないでください。

(8)注意ラベル・警告ラベルについて

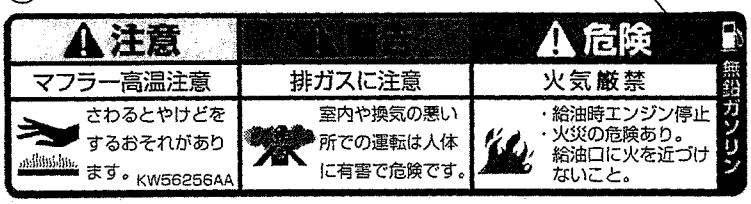
・安全に作業をしていただくために、本機には注意ラベル・警告ラベルが貼ってあります。よくお読みになって理解した上で作業してください。
・いつも汚れや泥をふき取り、表示内容が見えるようにしてください。
・注意ラベル・警告ラベルが破損したら、最寄の販売店に注文をし、新しいものと交換してください。
・注意ラベル・警告ラベルが貼ってある部品を交換したときは必ず、新しいラベルを取り外した部品と同じ場所に貼ってください。



	品 番	品 名
Ⓐ	G052-000520	回転注意ラベル
Ⓑ	G052-000750	注意絵文字ラベル
Ⓒ	G052-000500	足掛け警告ラベル
Ⓓ	KW56256AA	エンジン危険ラベル

※Ⓓエンジンメーカーの品番

Ⓓ



－目　　次－

【１】本機の仕様…… 6
【２】名称…… 7
【３】各部の説明…… 8
【４】使用準備……10
【５】運転……12
【６】点検･整備……17
【７】長期保管……21
【８】サービスと保証について……22

【１】本機の仕様

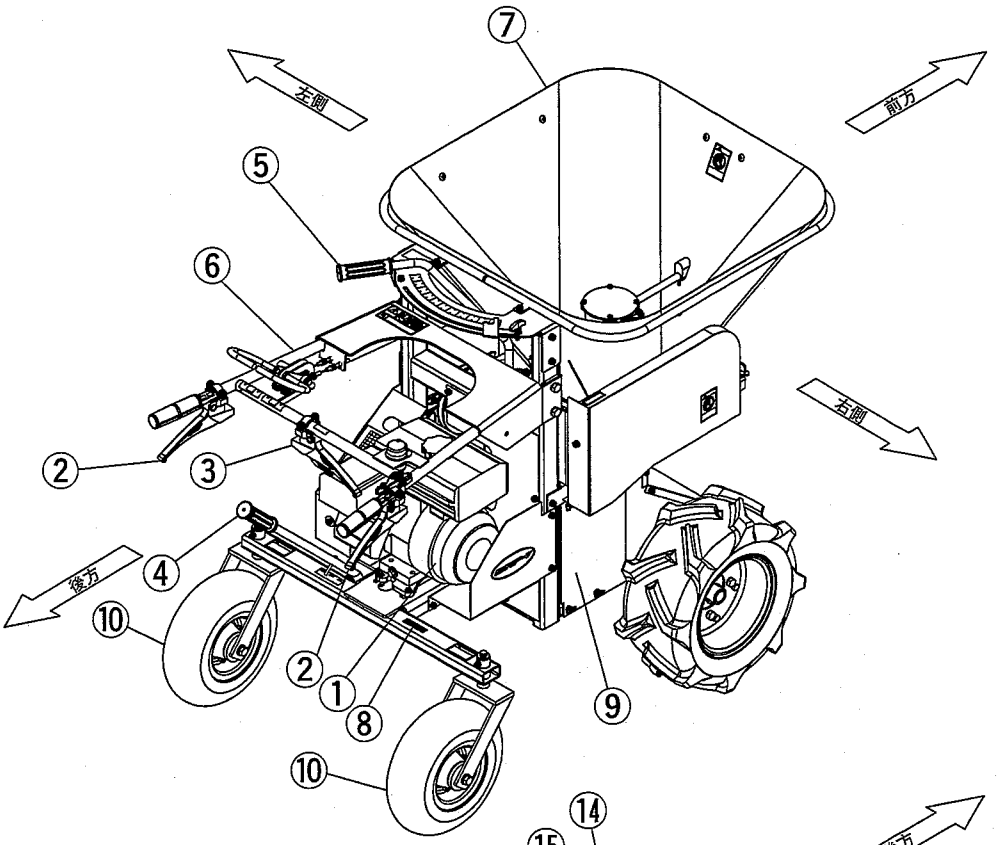
名称		自走式肥料散布機
型式名		SRP-7
機体寸法	全長（mm）	1325
	全幅（mm）	820
	全高（mm）	1007
本体質量（kg）		120（乾燥重量）
機関	種類	空冷4サイクルガソリンエンジン
	総排気量（cc）	98
	最大出力（kW）/（PS）	2.2 （3.0）
	始動方式	リコイル式
	使用燃料	無鉛ガソリン
走行速度	D1:前進1速（km/h）	1.9（エンジン回転数1800rpmのとき）
	D2:前進2速（km/h）	3.9（エンジン回転数1800rpmのとき）
	R :後進（km/h）	2.2（エンジン回転数1800rpmのとき）
最大散布幅（m）		5

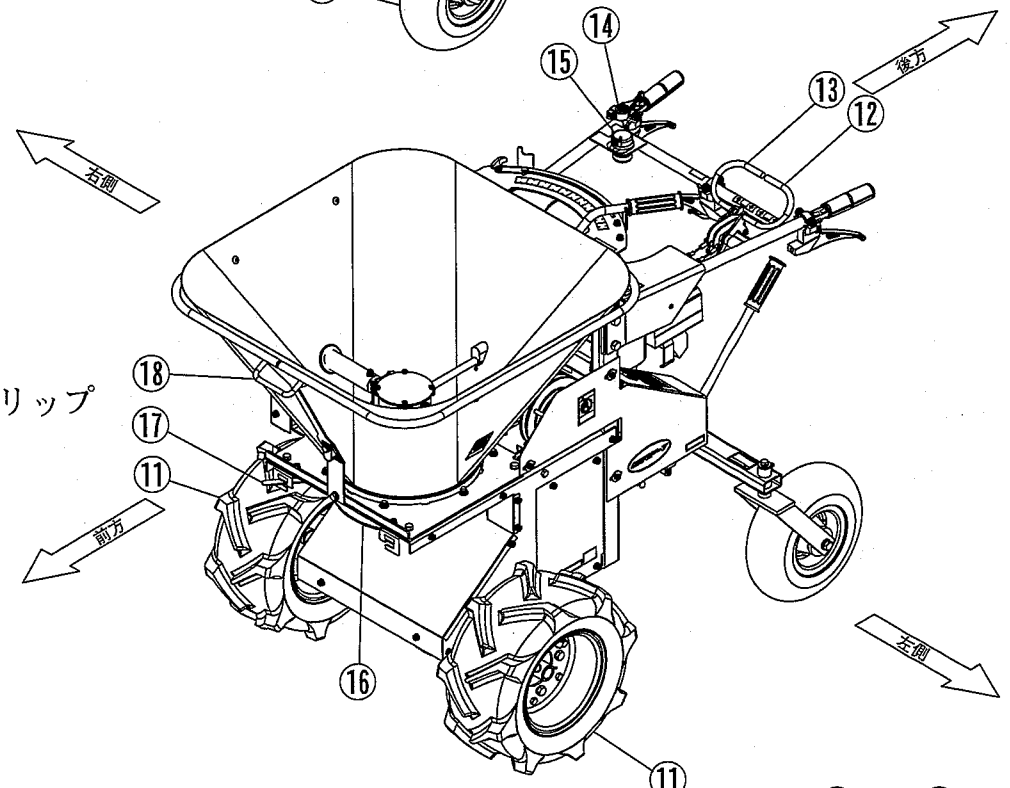
※仕様は予告無く変更することがあります。

【２】名称

2.1 本機

①エンジン
②サイドクラッチレバー
③駐車ブレーキレバー
④シフトレバー
⑤散布量調節レバー
⑥ハンドル
⑦ホッパー
⑧製造番号
⑨フレームカバー
⑩尾輪
⑪前輪
⑫走行クラッチレバー
⑬散布クラッチレバー
⑭スロットルレバー
⑮エンジン停止スイッチ
⑯散布板
⑰散布方向選択板
⑱取っ手



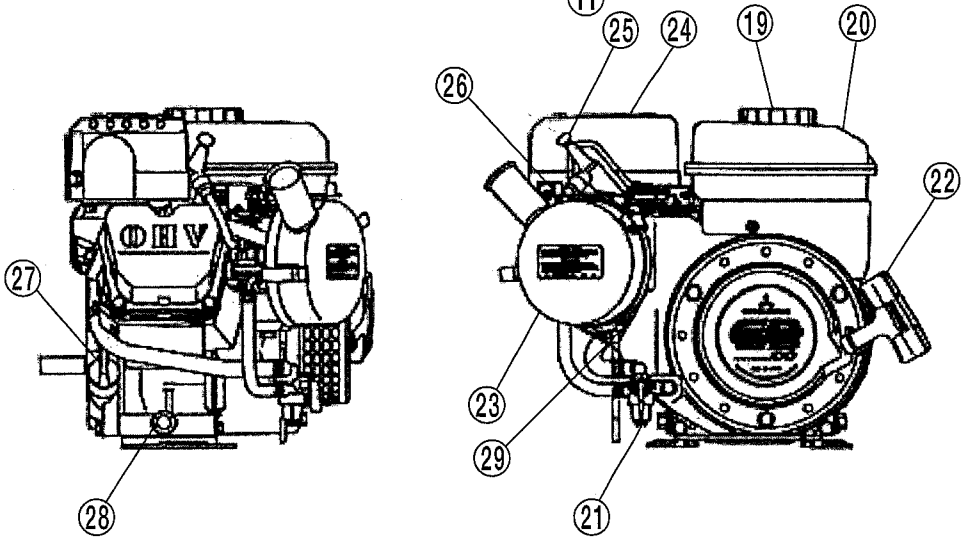


2.2 エンジン

⑲燃料タンクキャップ
⑳燃料タンク
㉑燃料コック
㉒リコイルスターターグリップ
㉓エアクリーナ
㉔マフラー
㉕点火プラグキャップ
㉖チョークレバー
㉗オイルゲージ
㉘オイルドレンプラグ
㉙キャブドレン

2.3 付属品

・ エンジン取扱説明書
・ エンジン工具
・ 本書（取扱説明書）



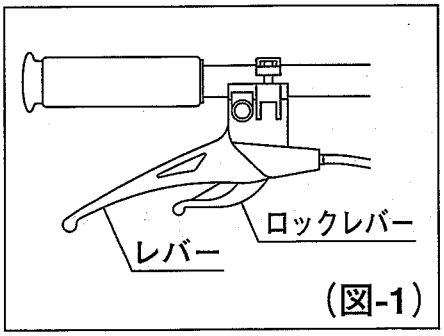
【3】各部の説明

②サイドクラッチレバー

機体の方向を変えるときに使用します。②サイドクラッチレバーを握ると握った方向に曲がります。

③駐車ブレーキレバー

機体を駐車するときに使用します。③駐車ブレーキレバーはロック機構付きです。（図-1）レバーを握ると自動的にレバーが握った状態でロックされます。解除は、ロックレバーを握ってください。作業前に駐車ブレーキが作動するかエンジンを停止し、交通の妨げとならないところで、機体が倒れたり動いたりしない、平坦な場所で確認をしてください。



（図-1）

確認方法：④シフトレバーをNの位置にし、③駐車ブレーキレバーをロックされる状態まで握ってください。本機を前後に押したり引いたりして、⑪前輪が回転しなければ駐車ブレーキが掛かっています。

重要	**・作業前に駐車ブレーキが作動するか確認をしてください** **・駐車するときは、必ずエンジンを停止させてください。** **・散布作業を行うときは、必ず駐車ブレーキを解除してください。** **・走行中に駐車ブレーキを操作しても、本機を停止させることはできません。**

④シフトレバー

左側から、D2（前進2 速）・N（ニュートラル）・D1（前進1 速）・N・R（後進）の順になっています。操作をするときは、必ず⑫走行クラッチレバーを停止の位置にし、エンジンをアイドリング状態にしてください。

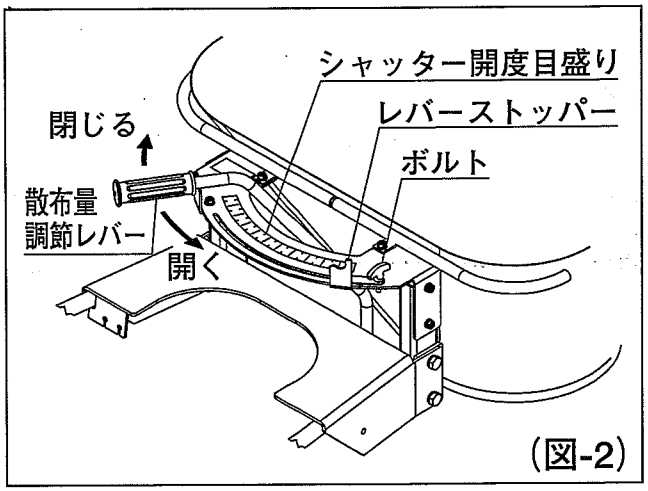
注意	**暴走する危険があります。** **シフトレバーを操作するときは、必ず走行クラッチレバーを停止の位置にしてください。**

⑤散布量調節レバー

肥料の散布量を調節します。

⑤散布量調節レバーの位置により、散布量を調節できます。⑤散布量調節レバーを右に回すと散布量は増加します。逆に左に回すと散布量は減少します。⑤散布量調節レバーを完全に左のレバーストッパーに固定されたとき、シャッターは閉じた状態となります。（図-2）

⑤散布量調節レバーの開く側には、レバーストッパーがとりつけてあります。ボルトをゆるめると

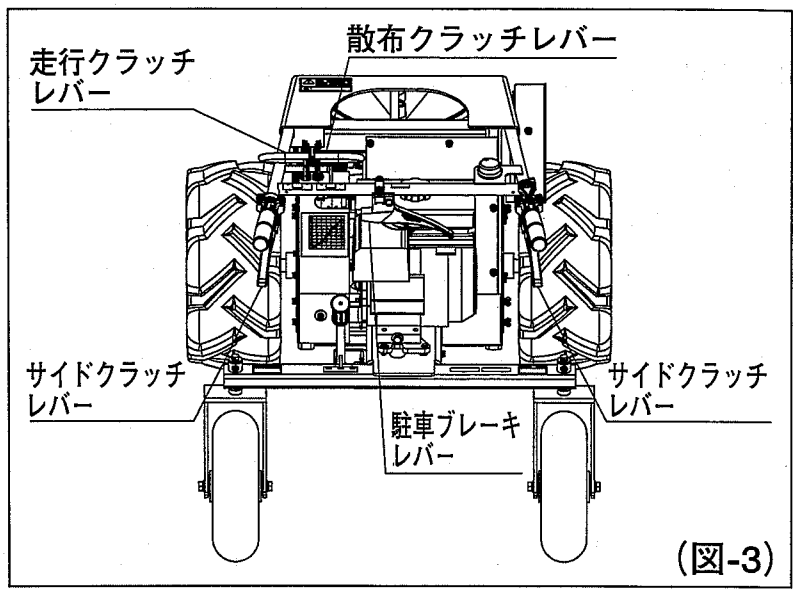


（図-2）

レバーストッパーの固定が解除されます。レバーストッパーを任意のシャッター開度目盛りの位置に合わせボルトをしめるとレバーストッパーは固定されます。⑤散布量調節レバーは、レバーストッパーまで作動することができます。シャッター開度については5.5散布量の設定を参照してください。

⑫走行クラッチレバー

機体の走行と停止を行います。（図-3）
⑫走行クラッチレバーを手前に引くとエンジンからの動力が切となり、走行が停止します。前方に倒すとエンジンからの動力が入となります。



（図-3）

注意

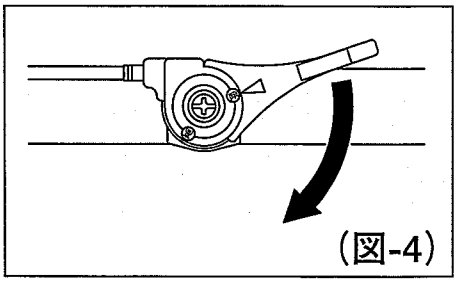
急激な操作は、暴走をすることがあり危険です。
走行クラッチレバーの操作は、徐々に行ってください。

⑬散布クラッチレバー

肥料の散布と停止を行います。⑬散布クラッチレバーを手前に引くと⑯散布板が停止します。

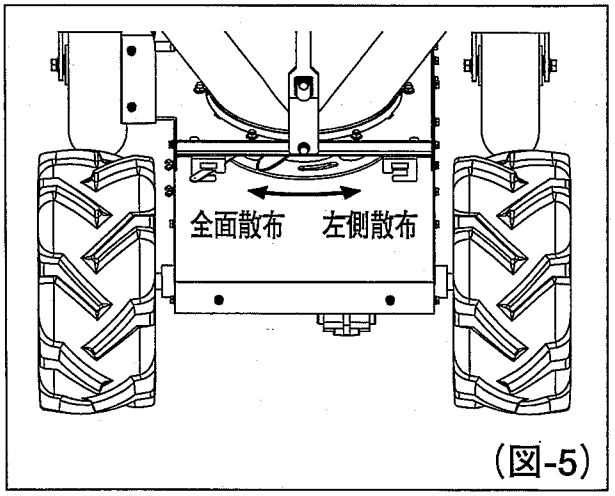
⑭スロットルレバー

エンジンの回転数を調節します。⑥ハンドルの内側に操作するとエンジンの回転数が上がります。（図-4）


（図-4）

⑰散布方向選択板

肥料の散布方向を選びます。⑰散布方向選択板の位置により「全面散布」「左側散布」を選択することができます。（図-5）



（図-5）

【4】使用準備

4.1 積み･下ろしと運搬

(1) トラックへの積み･下ろしは必ずブリッジ（道板）を使用し、転倒･落下に十分注意をしてください。

⚠ 警告	・機械が落下する恐れがあります。 ・ブリッジ（道板）は、長さ･幅･強度の十分あるものを使用してください。 ・後ろ下がりの積み･下ろしはしないでください。 ・トラックへの機械の積み・下ろしをするときは、必ずトラックのエンジンを停止し、駐車ブレーキを掛け、車止めをしてください。 ・トラックへの機械の積み・下ろしは、無積載・最低速度で行ってください。

(2) トラックに載せて運搬するときは、転倒・落下を防ぐために⑱取っ手と⑥ハンドルに強度の十分あるロープを使用して、トラックへ確実に固定してください。

4.2 作業前点検

⚠ 警告	点検は平坦な場所でエンジンを停止して行ってください。不安定な場所やエンジンを始動したまま点検を行うと思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。

いつも安心して使用するためには日常の点検･整備は必要です。忘れずに行ってください。

- 本機周り……使用する燃料は正しいですか。
  燃料の漏れはないですか。
  オイルの量は規定量入っていますか。
  オイルの漏れはないですか。
  ゴミ･ワラなどの付着はないですか。
- レバーの作動……引っかかりはないですか。
  スムーズに作動しますか。
- 各部の締付け……各部のねじ、ナット等にゆるみはないですか。
- 配線、ケーブル類……被覆のやぶれ、切れはないですか。
  配線、ケーブルのはさまりはないですか。
- エンジンの始動、停止…エンジンを始動し、異音はないですか。
  ⑮エンジン停止スイッチで確実に停止しますか。
- カバー内部……草木の葉、枝、ゴミ等はないですか。
  清掃を行ってください。
- その他異常を感じたら直ちに購入店へ修理を依頼してください。

4.3 燃料




燃料は、自動車用「無鉛ガソリン」を使用してください。⑳燃料タンクの容量は1.6リットルです。

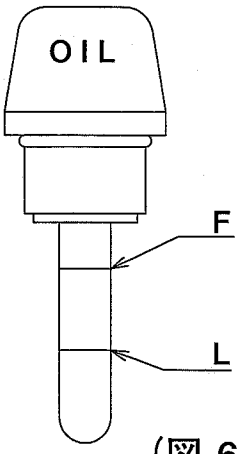
危険	安全な作業『火気厳禁』の項に従い燃料タンクに燃料を注入してください。

重要	・燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、エンジン不調の原因になります。燃料は、30日以内を目安に使い切るようにしてください。 ・ガソリンにアルコールなど混ぜないでください。 ・水が混入した燃料を使うと、気化器やエンジン内部が腐食します。機械や燃料容器に水がかからないようにしてください。 ・エンジン取扱説明書を必ず読んで理解の上、ご使用ください。

4.4 エンジンオイル

製品出荷時にエンジンオイルは注油済みですが、使用前には必ずエンジンオイルの量と、汚れ具合を確認してください。

方法：機体を安定した場所に置きエンジンを水平にしてください。㉗をオイルゲージ外し、㉗オイルゲージのオイルをふき取ります。㉗オイルゲージをねじ込まず、差し込んで、エンジンオイルがFからLの間にあるか確認をしてください。（図-6）確認が済みましたら元のように、㉗オイルゲージをゆるみのないようにしめてください。エンジンオイルの量が不足しているときは、正規油面まで補充してください。また、汚れがひどい場合は、全量を交換してください。⇒点検、整備の項を参照してください。



(図-6)

4.5 ホッパーへの投入

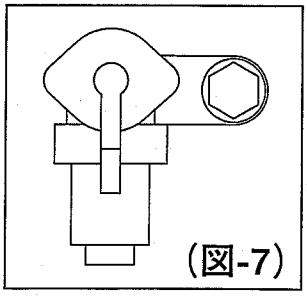
⑤散布量調節レバーが全閉の位置にあるか確認し、⑬散布クラッチレバーを手前に引いてください。機体の転倒に注意して肥料を⑦ホッパー内に入れてください。このとき、エンジンやその他の部分に肥料がかからないように注意してください。肥料が付着したときは、速やかに取り除いてください。

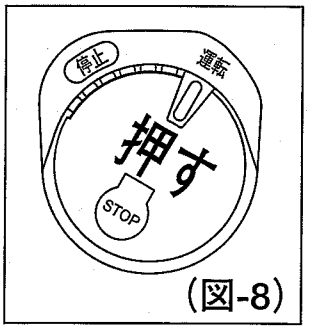
注意	・肥料の投入はエンジンを停止して行ってください。 ・安定した場所で、転倒に注意してください。

【5】運転

注意	・エンジン始動と同時に暴走する可能性があり危険です。 ・走行クラッチレバーは、必ず手前に引いてください。

5.1 始動


(図-7)



(図-8)

(1) ③駐車ブレーキレバーを握り、ロック状態にしてください。
(2) ㉑燃料コックを開きます。（図-7）
(3) ⑮エンジン停止スイッチを押しながら右へ回し運転の位置にしてください。（図-8）
(4) ⑭スロットルレバーを 1/4～1/3 開きます。（⑤ハンドル内側に⑭スロットルレバーを操作する。）
(5) 外気温がおよそ 15℃以上のときにはチョーク操作は不要です。それ以下のときには、㉖チョークレバーを全閉にします。
(6) 本機をしっかりと押え、㉒リコイルスターターグリップを握り圧縮位置まで軽く引き、この位置から勢い良く引っ張ってください。
(7) エンジンが始動したら㉒リコイルスターターグリップをゆっくりと元の位置に戻してください。
(8) チョーク操作を行ったときは、始動後、エンジンの調子を見ながら徐々に㉖チョークレバーを開の位置に戻してください。

注意	・リコイルスターターグリップを引っ張るときは、周囲に人のいないことを確かめてください。けがを負うおそれがあります。 ・走行クラッチレバーは手前に引き、停止の位置にあることを確認してください。エンジン始動と同時に暴走する可能性があります。

重要	・始動前に、本機に異物のかみ込みが無いか確認してください。 ・エンジン取扱説明書も合わせてお読みください。 ・リコイルスターターグリップを引いたあと急に手を放さないでゆっくり戻してください。エンジンや周りの部品を破損することがあります。 ・運転中はリコイルスターターグリップを引かないでください。エンジンに悪影響をあたえます。 ・暖機運転（約5分）をした後、所要の回転速度にスロットルレバーを合わせご使用してください。

5.2 前進走行

(1) ⑫走行クラッチレバーと⑬散布クラッチレバーを手前に引いて停止の位置にしてください。
(2) エンジンを始動してください。5.1を参照してください。
(3) ⑤散布量調節レバーを全閉の位置にしてください。
(4) ④シフトレバーを「D1」・「D2」のいずれかの位置にしてください。
(5) ③駐車ブレーキレバーのロックを解除してください。
(6) 進行方向をよく確認してから、⑫走行クラッチレバーを徐々に前方へ倒してください。
(7) ⑭スロットルレバーで、走行速度を調節してください。

⚠ 警告	・本機についた泥や巻き付いた草を取り除くときは、必ずエンジンを停止してから取り除いてください。 ・本機のまわり10mの範囲内へ他の人や動物が近づかないようにしてください。 ・作業中は、障害物の有無や足元を確認しながら、低速で行ってください。転倒などの重大事故につながる恐れがあります。 ・作業中は手袋、保護メガネを着用してください。 ・給油するときは、必ずエンジンを停止してください。 ・本機に異常を感じたときは、直ちにエンジンを停止してください。

⚠ 注意	・本機の操作を行うときは、本機後方中央に立ち、必ず両手でハンドルを持ってください。バランスをくずし、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。 ・車両などに載せて運搬するときは転倒･落下を防ぐために強度の十分あるロープを使用して確実に固定してください。

重要	・エンジンの回転数はできるだけ低い回転数から始め、徐々に上げてください。急激な負荷は、エンジンが停止したり各部に損傷を与えます。 ・走行クラッチレバー、スロットルレバーの操作は、静か（スムーズ）に行ってください。急激な操作を行うと本機がとび出したりします。

5.3 後進走行

(1) ⑫走行クラッチレバーと⑬散布クラッチレバーを手前に引いて停止の位置にしてください。
(2) エンジンを始動してください。5.1を参照してください。
(3) ⑤散布量調節レバーを全閉の位置にしてください。
(4) ④シフトレバーを「R」の位置にしてください。
(5) ③駐車ブレーキレバーのロックを解除してください。
(6) 進行方向をよく確認してから、⑫走行クラッチレバーを徐々に前方へ倒してください。

5.4 旋回走行

(1) ⑭スロットルレバーで、エンジンの回転数を下げ、走行速度を低速走行にしてください。
(2) 旋回方向をよく確認してから、旋回方向の②サイドクラッチレバーを完全に握ってください。
(3) 握った②サイドクラッチレバー方向の前輪が止まり、旋回を開始します。
(4) 進行したい方向に機体が向いたとき、握った②サイドクラッチレバーを開放すると、旋回が停止し、前進走行を開始します。

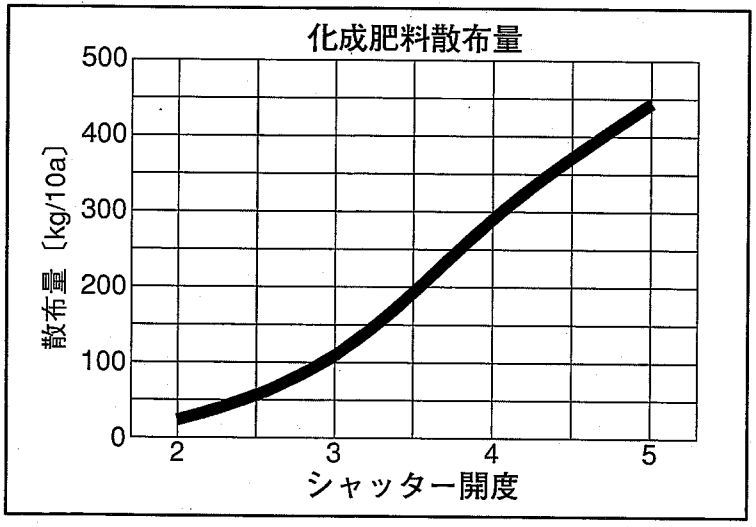
⚠ 警告	**・必ず、低速走行で旋回をしてください。** **・傾斜地での旋回はしないでください。** **・転倒し、ケガをする恐れがあります。**

5.5 散布量の設定

・作物･肥料の多様化により、散布量を一度に設定するのは困難です。散布量の確認を行うため、圃場で散布する前には散布量を少なめに設定し、試し散布を行ってください。5.9試し散布を参照してください。
・散布作業にあたっては、散布する肥料の散布量グラフを参考にし、シャッター開度を設定してください。
・実際に作業を行い、もし設定した通りに散布できない場合は、シャッター開度かエンジンの回転数を変えて調節します。

散布量グラフ（目安）

当社試験による参考値ですので、これは目安にしてください。試験は、エンジンの回転数全開、④シフトレバーは「D1」の位置で行なっています。



※散布する銘柄･種類・水分量によって異なります。

重要	**肥料の状態（粒の大きさ、湿り具合）や走行速度の違いにより、同じ肥料でも散布量に多少の違いが出る場合があります。また、散布困難な肥料等もあります。**

5.11 移動・運搬での注意

注意	車両などに載せて運搬するときは転倒･落下を防ぐために強度の十分あるロープを使用して確実に固定してください。

【6】点検･整備

本機の点検･整備を怠ると事故の原因になることがあります。本機を正常な状態に保つ事が安全につながります。点検して不具合が見つかった場合は、直ちに販売店へ修理を依頼し、必ず修理が完了してから本機を使用してください。

警告	・調整をするときには、機械をしっかり保持してください。 ・素手で作業をしないでください。必ず手袋を着用してください。 ・異常がある場合は、直ちに購入店へ修理を依頼してください。 ・ご自身での調整が困難な場合は、購入店へ調整を依頼してください。

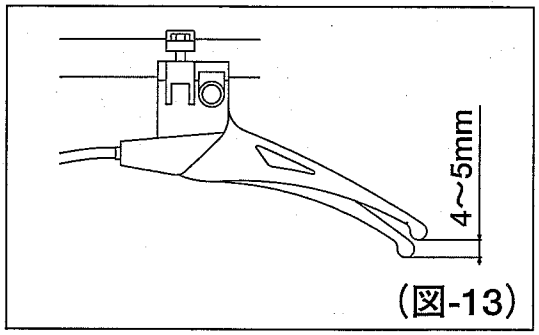
注意	指などの巻き込みの危険があります。 取り外したカバー類は、必ず付けてから使用してください。

6.1 本機側

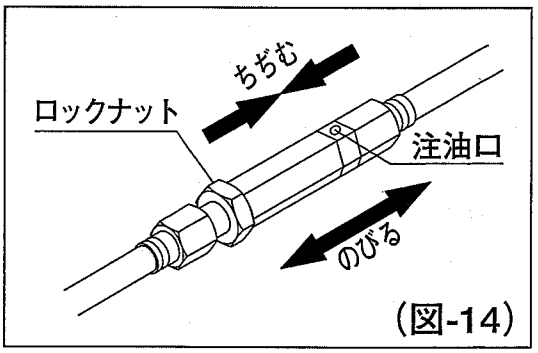
6.1.1 操作ワイヤーの調整

操作ワイヤーは、伸びることがあります。定期的に調整をしてください。

(1) サイドクラッチワイヤー、駐車ブレーキワイヤー各クラッチレバーの遊びが4～5mmになるように、ワイヤー調整用アジャスターで調整をしてください。（図-13）ロックナットをゆるめ、矢印の方向へ移動しながら調整してください。調整後、ゆるめたロックナットは、確実に固定してください。（図-14）



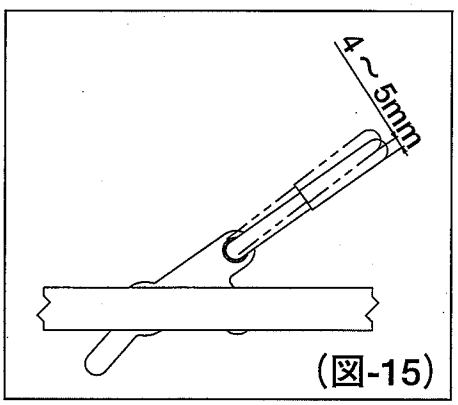
(図-13)



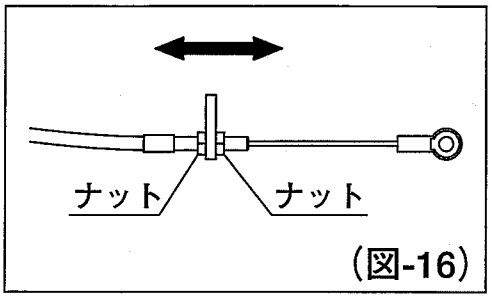
(図-14)

(2) 走行クラッチワイヤー、散布クラッチワイヤー

各クラッチレバーの遊びが4～5mmになるように、ワイヤー調整用アジャスターで調整をしてください。（図-15）ナットをゆるめ、矢印の方向へ移動しながら調整してください。（図-16）



（図-15）

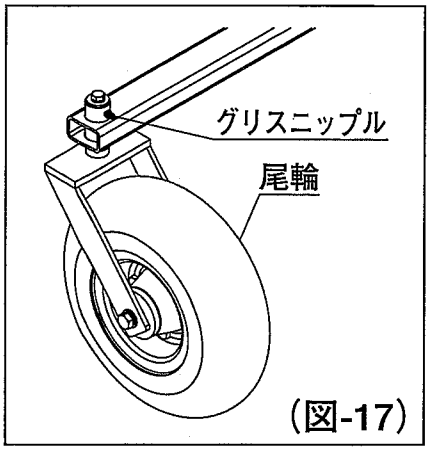


（図-16）

注意	ゆるめたボルト、ナットは確実に固定してください。 誤作動する恐れがあります。

6.1.2 尾輪

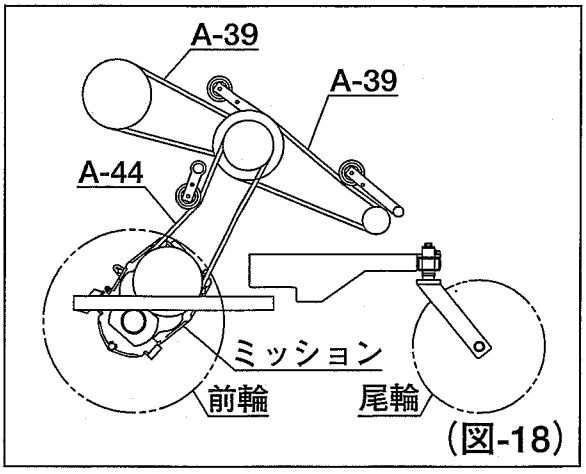
グリスニップルよりグリスポンプにてグリスを注入してください。（図-17）



（図-17）

6.1.3 Vベルト

Vベルトの傷や割れ、摩耗などの異常があった場合は、直ちに購入店へ修理を依頼してください。（図-18）



（図-18）

6.1.3 その他

(1) 本機各部の損傷やねじのゆるみ、変形などがないか点検をしてください。
(2) 部品が損傷していたり、亀裂を生じている場合は、使用を中止し、購入店にて純正部品と交換してください。
(3) 各部の汚れや枝葉を取り除いてください。
(4) 異常な音や振動がある場合は、使用を中止し購入店へ相談してください。

重要	⑦ホッパー底部にあるシャッターには注油しないでください。 作動不良の原因になります。

6.2 ミッション側

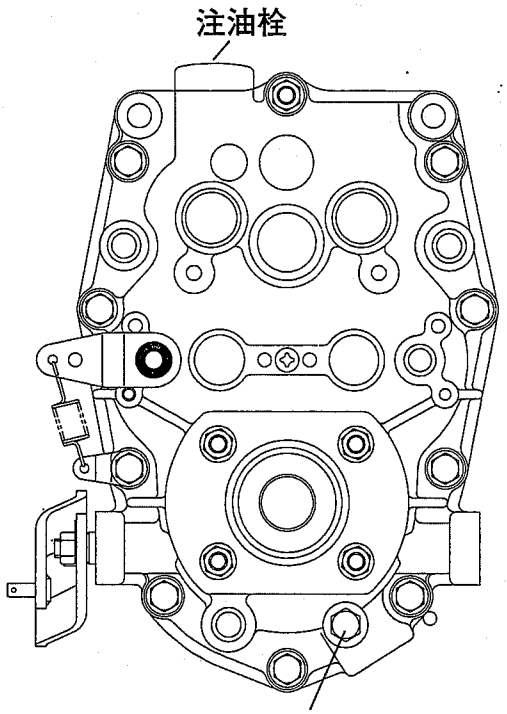
6.2.1 ミッションオイル

初回は50時間で交換してください。以降50時間または、2年毎のどちらか短い時間で交換をしてください。

<u>オイル交換方法</u>

本機を安定した場所に水平に置いてください。
廃油栓と注油栓を外し、ミッション内のオイルをすべて抜いてください。抜き終わりましたら、廃油栓を元の状態にしめ付けてください。注油口より静かにミッションオイルを規定量いれてください。オイルを入れ終わった後に、注油栓を元の様に取り付けてください。（図-19）

油量:1.0リットル
種類:ミッションオイル#90



（図-19）

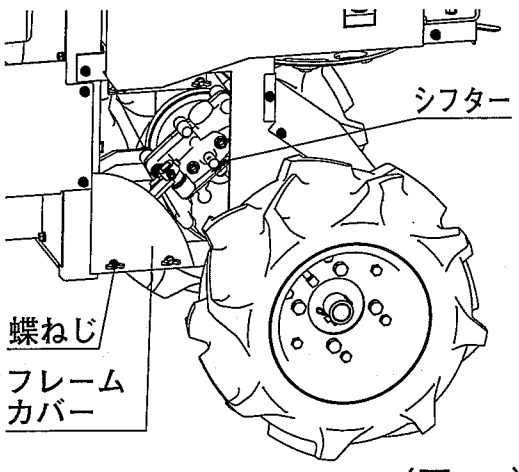
重要	ミッションオイルの廃油処理は各自治体の指示に従ってください。

6.2.2 ミッションの掃除

ミッションに肥料などが付着している場合、故障の原因になります。作業後には、⑨フレームカバーを取り外し、必ずミッションに付着した肥料などを取り除いてください。特に、シフター部分に肥料が付着しないようにしてください。（図-20）

6.2.3 その他

(1) 損傷やねじのゆるみ、変形などがないか点検をしてください。
(2) オイルの漏れ等が無いか点検をしてください。



（図-20）

6.3 エンジン側

危険	・エンジンの点検･整備は、安全作業『火気厳禁』の項に従い行ってください。

警告	・エンジンの点検･整備はエンジンが冷えてから行ってください。火傷をする恐れがあります。 ・異常がある場合はただちに購入店へ修理を依頼してください。

重要	エンジン取扱説明書も合わせてお読みください。

6.3.1 エンジンオイル

初回は25時間目で交換してください。

詳しくは、エンジン取扱説明書をお読みください。

交換方法

エンジンが暖かいうちに㉘オイルドレンプラグからオイルを抜取り、新しいオイルと交換してください。

油量:0.4リットル

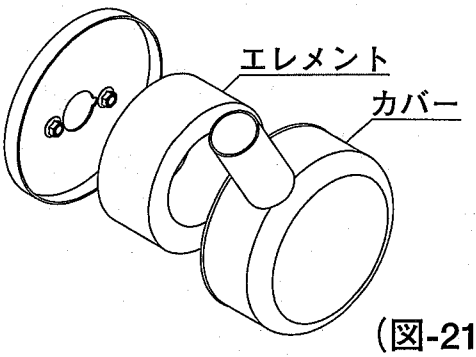
種類:エンジンオイル#30

⚠ 警告	**熱いオイルが体にかかると火傷する恐れがありますので十分注意してください。**

重要	**エンジンオイルの廃油処理は各自治体の指示に従ってください。**

6.3.2 エアクリーナ

カバーを外し、エレメントを点検してください。点検後はカバーを確実に組付けてください。エレメントの汚れがひどいとき、およびオイル分がなく乾いているときは、白灯油で洗浄後エンジンオイルに浸し、滴下しない程度に振り切る、または絞ってください。（図-21）

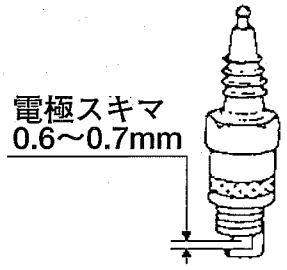


（図-21）

6.3.3 点火プラグ

点火プラグは、電極やガイシ部分が汚れたり、カーボンが付着するため、定期的に清掃をしてください。

清掃後、電極スキマを0.6～0.7mmに調整してください。交換時には、BP6HSを使用してください。（図-22）



（図-22）

重要	**指定以外の点火プラグを使用しないでください。失火、始動不良の原因となります。**

6.3.4 リコイルスターター

リコイルスターターに肥料などが付着している場合、故障の原因になります。作業後には、圧縮空気などを使用しリコイルスターターに付着した肥料などを取り除いてください。

6.4 定期点検表

		始動前	作業終了後または毎日	燃料補給時	50時間	100時間	150時間	毎年	故障の場合	破損の場合	必要な場合
エンジン	目視検査（状態と漏れ）	○		○							
	掃除		○								
リコイルスターター	掃除		○								
スロットルレバー	作動検査	○		○							
エアクリーナ	掃除		○						○		○
	交換									○	
燃料コック	点検 ※1								○		
	交換 ※1							○		○	○
点火プラグ	電極スキマの調整				○						
	交換					○			○		
ミッション	掃除		○								
各部のねじ等のゆるみ※2	増し締め	○									○
Vベルト	点検				○		○				
操作ワイヤー	調整				○		○				
前輪取付ピン	交換									○	○
ホッパー及びシャッター部	掃除		○								
配線コード及び被服のはがれ	交換									○	
注意ラベル・警告ラベル	交換									○	

※1 購入店へ依頼してください。

※2 調整用のねじは除く

重要	**上記の定期点検表は通常の作業条件を対象としています。 作業状態が悪い場合（非常にほこりの多い場所等）、あるいは毎日の作業時間が通常よりも長い場合は、それに応じて表に示された間隔よりも短くしてください。**

【7】長期保管

危険	**・引火による火災の恐れがありますので燃料を抜き取るときは、火気のないところで行ってください。 ・燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。**

転倒の可能性の無い乾燥した場所に保管してください。

肥料小屋、露天等に長期保管しないでください。

7.1 本機側

(1) ⑦ホッパー内の肥料分は全て排出してください。

(2) シャッター全開で空運転をしてシャッター内部の肥料分を取り除いてください。

(3) ワイヤー、その他の作動部に注油してください。（シャッター部を除く）

(4) 水洗いする場合は、水洗い後米ぬか等できれいにシャッター内部の水気を取り除いてください。

7.2 エンジン側

(1) 1ヶ月以上エンジンを使用しない場合は、燃料の変質による始動不良等を防止するため気化器内の燃料を㉙キャブドレンをゆるめて抜いてください。また、⑳燃料コックから燃料を抜いてください。運転不調にならないように、次の手順で燃料を抜き保管してください。

(2) 点火プラグを外し、シリンダ内にエンジンオイルを 2～3cc注入し、クランク軸を数回まわして点火プラグを取り付け、圧縮のあるところで止めてから保管してください。

(3) 外面は、油のしみた布で掃除してください。

詳しくは、エンジン取扱説明書をお読みください。

重要	**水洗いはしないでください。**

【8】サービスと保証について

保証書は、お客様が保証期間中に保証修理を受けるとき、ご提示いただくものです。お読みになられたあとは、大切に保管してください。

警告	**機械の改造は危険ですので絶対にしないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合や、使用上の誤りは、メーカーの保証対象外になりますのでご注意ください。**

8.2 アフターサービスについて

作業前点検時や使用中に不具合が発見された場合は、すぐに適切な整備をしてください。お買い上げの購入店へ整備を依頼してください。

連絡していただく内容

・機種名

・製造番号

製造番号は、エンジン右下に表示されています。

・故障内容

なにが・どうしたら・どんな状態で・どうなったかを詳しくお話ください。

製造号機
NO.MH15-

本製品を安全にご使用していただくには、正しい操作と定期的な点検･整備が不可欠です。年に一度は、お買い上げの購入店へ点検･整備を依頼してください。このときの整備は有料となります。

8.3 補修部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は、本製品の製造打ち切り後9年です。

但し、供給年限内であっても、特殊部品については納期等をご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-6181

やまびこ北海道株式会社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　　Tel 011-891-2249（代）

やまびこ東北株式会社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50　　Tel 022-288-0511（代）

やまびこ東部株式会社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-1091（代）

やまびこ中部株式会社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　　Tel 052-502-4111（代）

やまびこ西部株式会社
〒701-0221　岡山県岡山市南区藤田566-159　　Tel 086-296-5911（代）

やまびこ九州株式会社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原 5-3-7　　Tel 092-573-5361（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。